

保育界

2014
2



発行 日本保育協会

保護者の希望をかなえた園のかたち

— フレーベル幼稚園（ドイツ） —

公益財団法人 日本生態系協会
教育研究センター長 田邊龍太

子どもの思いやる心、命やものを大切にする心を育むためには、自然の恵みを生かした保育環境づくりが大切になります。ここでは、そうした環境づくりを積極的にすすめる海外の事例をご紹介します。



『五感が育まれる環境にしてもらいたい』
『無機的でない環境にして欲しい』
『いろいろな遊びができる環境にしてもらいたい』…など

こうした希望が、園の改修を計画するとき、保護者から寄せられました。そこで、この園では、保護者と保育者が一緒になって、園児の発育に望ましい保育環境を考えることにしました。園児にも、園でどんな遊びがしたいかを絵に描いてもらい、アイディアを加えました。そして、最終的に導き出した結論は、自然に囲まれた園づくりでした。平坦だった園庭には築山をつくり、地域の自然に生える在来の草や木を植えました。

こうして改修された園では今、敷地内で生きもの探しや探検、おままごとなど、園児が毎日生き生きと遊んでいます（写真左右）。

■ こども環境管理士資格試験『サテライト会場』のご相談を承ります

『こども環境管理士』とは、自然の恵みを生かし思いやる心、命やものを大切にする心を育む、保育の新しいせんせい。東京や大阪などの正規の会場以外でも受験できる『サテライト会場』の制度がございます。サテライト会場は、団体や園ごとに設置が可能です。日本生態系協会（TEL03-5954-7106）までお気軽にご相談ください。



※こども環境管理士資格試験：【主催・認証】(公財)日本生態系協会【後援】(社福)日本保育協会、(社福)全国社会福祉協議会 全国保育協議会、(公社)全国私立保育園連盟 ほか